

＜横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 中期学校経営方針＞

中期計画期間	平成27年4月～平成30年3月
学校教育目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広い視野、高い視点、多面的な見方を身につけさせ、ものごとに対する柔軟な思考力・解析力を培い、論理的頭脳を養う。 2. 旺盛な探究力、豊かな創造力、世界に通じるコミュニケーション能力、自立力を培うことによって、よりよく生きる知恵を養う。 3. 社会における己の使命を自覚し、積極的に社会に貢献しようとする志を養う。 4. 人格を陶冶し、有為な社会の形成者としての品格を養う。 5. 幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな心身を養う。
中期目標	SSH（スーパーサイエンスハイスクール）・SGH（スーパーグローバルハイスクール）の研究開発課題及び進学指導重点校としての実践研究に取り組む。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 科学する心を育成する教育環境の構築 2. 知識・知恵連動の教育プログラムの開発 3. 世界に通用するコミュニケーション力の育成 4. グローバルサイエンスキャンパスとの連携による高大接続の研究 5. 内外の多様な教育資源を活用したグローバルリーダー教育の研究開発 6. 授業力向上と学力向上及び進路指導の充実
目標設定の理由	「学問を広く深く学ぼうとする精神と態度を培いながら、生徒一人ひとりが持つ潜在的な独創性を引き出し、日本の将来を支える論理的な思考力と鋭敏な感性をはぐくみ、先端的な科学の知識・知恵・技術、技能を活用して、世界で幅広く活躍する人間を育成する」という、本校の教育理念を実現するため。
学校の特色づくりのための重点目標	
重点取組項目	取組目標
<ol style="list-style-type: none"> ① 次代を担うグローバル人材の育成 ② 特色ある高校づくり ③ 生徒一人ひとりの能力を最大限に伸ばす教育の充実 	<ol style="list-style-type: none"> ① ・英語力の向上（2年次終了段階での英検2級相当以上60%、研究発表会等での英語プレゼンテーションの実施年間一人2回） ・国際交流活動の推進（海外派遣生徒数及び海外大学・高校等連携先の拡充） ② ・個性を伸ばす専門教育の推進（グローバルサイエンスキャンパスとの連携によるサイエンス教育の充実と推進及びグローバルスタディーズ、サタデーヒューマンスタディーズの確立によるグローバルリーダー教育の充実と推進） ③ ・大学・企業等と連携した特色ある教育の推進（横浜市立大学チャレンジ参加生徒拡充による充実） ・進路希望実現のための取組（キャリア教育の内容の充実及びセンター試験5教科7科目の合計点平均700点以上） ・学力水準の向上に向けた取組（授業研修会年3回及びアクティブラーニングや協働学習など授業形態モデルの確立によるサイエンスリテラシーの充実）
人材育成の取組目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 本校の基本理念及びSSH・SGH及び進学指導重点校への理解を深め、その推進に努める雰囲気醸成する。 2. 授業公開、研修会を軸に新たな学習指導の理念や方法を学びあい、教科指導力、生徒理解力の向上を目指す。 3. 全教員が「サイエンスの力」と「言葉の力」を身につけ、「伝わる」ことを目標にチーム力を向上させる。 	

中期学校経営方針における 12 の取組分野（H28）

取組分野		取組目標
1	教育目標等の設定・実施	<ul style="list-style-type: none"> ・中期学校経営方針への理解を深め、目標の達成に向け努力する。 ・管理職が経営方針を明確に伝える他、討議や意見交換の場を確保する。
2	組織運営 教職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・継続と発展を目指したチーム力の向上を、教職員間に徹底していく。 ・生徒の課題理解研修、教育公務員としての不祥事防止研修を実施する。
3	教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・SSH及びSGHの両指定に伴う教育課程の整備を進める。 ・教育課程委員会や研修の機会を通して、教職員の共通理解を進める。
4	教科指導	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニング型授業の研究により授業力向上を図る。 ・YGLを導入し、生徒が主体的に授業に参加するよう指導を心がける。
5	特別活動 部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自主的な活動を通じて、互いに尊敬する態度、協調性を養う。 ・教職員同士の連携を密にすることにより、生徒活動の向上に努める。
6	生徒指導 教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が本校で学ぶ誇りと自信を持ち、いかに行動すべきか考えさせる。 ・教職員が共通の認識をもって、共通の指導に当たるよう努める。
7	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に研修会を開催し、キャリア教育を意識した指導力を高める。 ・生徒及び保護者向けに提供する資料を充実させる。
8	保健指導 環境美化	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の心身の健康課題について、迅速かつ丁寧な対応を続ける。 ・「ゴミの分別」「省エネ」の取組を進め、全校で意識を高めていく。
9	学校経理 施設・設備 情報の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的で円滑な事務処理及び体制強化を進める。 ・コンピュータやネットワークなど情報環境の見直しと整備を進める。
10	保護者・地域等 との連携協力	<ul style="list-style-type: none"> ・YSFH-PTAとの連携により、開かれた学校づくりをさらに進める。 ・地域自治会や小中学校等への定期的な広報に努める。
11	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を通して「避難場所・避難経路」の生徒への周知徹底を進める。 ・防災及び危機管理に対する意識を、生徒、教職員ともに高める。
12	学校に関する 情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ・企画・広報室による、スピーディーな情報発信をさらに進める。 ・生徒及び保護者に向けた発信、活用のための指導、連絡を行う。